



道からはじまる街づくり

株主のみなさまへ

2019年度 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで



日本道路株式会社

NICHIDO

(証券コード 1884)



代表取締役社長

久松 博三

株主のみなさまには平素より格別のご支援を賜り誠に有難く心からお礼申し上げます。
当社は、2019年7月30日、公正取引委員会から、2015年1月27日を終期とした全国アスファルト合材カルテル事業についての独占禁止法違反（不当な取引制限）に関して課徴金納付命令を受け、これにより2015年1月28日、東日本高速道路株式会社東北支社が発注する東日本大震災に係る舗装災害復旧工事の犯則調査から始まった一連の独占禁止法違反事件は一応の終結をいたしました。再びこのような事態を起こさぬよう、以後毎年7月30日を当社グループの「コンプライアンスの日」と定め、独占禁止法をはじめとする法令順守を含むコンプライアンスの、なお一層の徹底を図ってまいります。

さて、当社グループは、中期経営計画（2015～2019年度）にて掲げた経営数値目標及び経営指標目標達成に向けて取り組んでまいりましたが、平成から令和に元号が変わる節目の年、創立90年を迎えた年に、一年前倒しで新たな中期経営計画2019（2019～2023年度）を策定いたしました。当社グループを取り巻く事業環境を意識し、重要課題解決のための施策を打ち出し、企業価値向上に向けた取り組みとして、「民間受注の拡大」「営業利益率の向上」「働き方改革の推進」「安全衛生目標の設定」「環境目標の設定」「コンプライアンスの徹底」を掲げ、サステナブルな社会づくりに貢献していく姿勢を打ち出しました。

当社グループは、今後も、社会インフラを支える企業として、社是・社訓に「スピードと徹底」を加え、顧客満足度向上のための「道づくり」「街づくり」に誠実に取り組んでまいります。また、創立100年を迎える2029年、そして、持続可能な開発目標（SDGs）が目指す2030年のゴールに向け、創意研鑽に励み、時代の変化をいち早く読み取り、サステナブルな社会づくりに必要とされる企業となることを、役職員一丸となって目指してまいります。

社是・社訓

社是

創意研鑽 協調親和 信用高揚

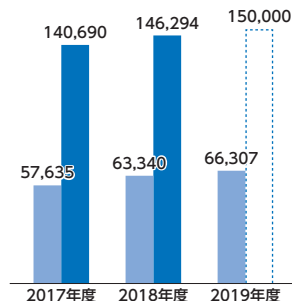
社訓

- 一、創意を活かし 技術の向上と業務の改善に努めよう
- 一、責任を自覚し 緻密な計画と果敢な実行に徹しよう
- 一、誠意を尽くし 相互の協調と秩序の確立に努めよう
- 一、身心を健全にし 明朗な職場と幸福な家庭を築こう
- 一、社業に専念し 会社の繁栄を通じて社会に貢献しよう

第2四半期決算ハイライト (連結)

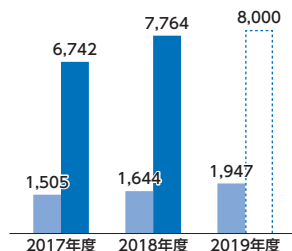
総売上高

66,307百万円
前年同期比4.7%増



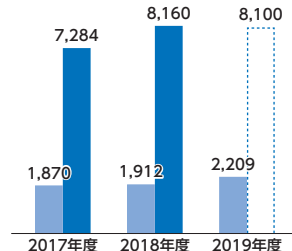
営業利益

1,947百万円
前年同期比18.4%増



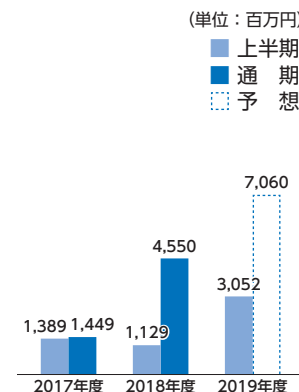
経常利益

2,209百万円
前年同期比15.5%増



親会社株主に帰属する四半期純利益

3,052百万円
前年同期比170.3%増



(単位：百万円)

■ 上半期
■ 通期
□ 予想

当上半期の日本経済は、海外情勢の先行き不透明感に加え、消費増税後の国内消費の落ち込みへの懸念があったものの、雇用・所得環境の改善が続くなか、高水準を維持しながらも一進一退で推移しました。

当社グループの主要事業である建設業界におきましては、政府建設投資が引き続き20兆円を上回る水準を維持しており、民間建設投資も人手不足や働き方改革への対応等を背景とした省力化投資等を中心に、企業の設備投資は増加しており、底堅く推移しております。

このような状況下、当社グループは民間工事の受注機会増大のため積算・提案・情報収集等の総合力強化を図ってまいりました結果、工事受注高は587億5千5百万円（前年同期比20.8%増）、工事売上高は530億2千3百万円（同4.8%増）となり、製品等を含めた総売上高につきましては663億7百万円（同4.7%増）となりました。

利益につきましては、製造・販売事業において原材料価格の上昇等により利益は減少したものの、建設事業において工事売上高の増加に伴い利益が増加したこと等により、営業利益は19億4千7百万円（同18.4%増）、経常利益は22億9百万円（同15.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、独占禁止法関連損失引当金戻入額16億6千1百万円を特別利益に計上したこと等により30億5千2百万円（同170.3%増）となりました。

通期の業績予想につきましては、概ね2019年8月9日に公表した業績予想の範囲内で推移していることから、現時点では変更ありません。

(総売上高で1,500億円、営業利益で80億円、経常利益で81億円、親会社株主に帰属する当期純利益は70億6千万円)

セグメント情報（連結）

■ 建設事業

530億円 (4.8%増)

売上高 前年同期比



大安IC

■ 賃貸事業

27億円 (0.7%減)

売上高 前年同期比



車内で事務作業が可能なデスクカー

■ 製造・販売事業

94億円 (4.6%増)

売上高 前年同期比



桑名アスコン

■ その他（※）

11億円 (16.5%増)

売上高 前年同期比



妙高高原体育館（温水トレーニングプール）

総売上高
663億円

※ 不動産業、ソフトウェアの開発・販売及び事務用機器の販売、損害保険代理業、スポーツ施設等の企画・運営他

四半期受注の概要（連結）

	2018年度 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	2019年度 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
建設事業	48,623	58,755	10,132	20.8
製造・販売事業	9,000	9,414	414	4.6
賃貸事業	2,742	2,724	△18	△0.7
その他	982	1,144	162	16.5
合計	61,348	72,039	10,690	17.4

第2四半期決算概要（連結）

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	2018年度	2019年度	科 目	2018年度	2019年度
	(2018年3月31日現在)	(2019年9月30日現在)		(2018年3月31日現在)	(2019年9月30日現在)
流動資産	111,604	101,526	流動負債	60,178	48,357
現金預金	26,061	28,131	固定負債	10,160	11,382
売上債権	61,866	44,507	負債合計	70,338	59,739
棚卸資産	2,873	3,122	株主資本	78,763	80,057
その他	20,803	25,764	資本金	12,290	12,290
固定資産	39,737	40,571	資本剰余金	14,540	14,540
有形固定資産	31,253	32,028	利益剰余金	53,606	54,900
無形固定資産	475	477	自己株式	△1,673	△1,673
投資その他の資産	8,008	8,065	その他の包括利益 累計額	2,112	2,180
資産合計	151,341	142,098	非支配株主持分	127	121
			純資産合計	81,003	82,359
			負債純資産合計	151,341	142,098

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	2018年度	2019年度
	(自2018年4月1日 自2018年9月30日)	(自2019年4月1日 自2019年9月30日)
売上高	63,340	66,307
売上原価	57,725	60,363
販売費及び一般管理費	3,969	3,996
営業利益	1,644	1,947
営業外収益	290	287
営業外費用	23	25
経常利益	1,912	2,209
特別利益	17	1,667
特別損失	120	81
税金等調整前四半期純利益	1,809	3,794
法人税・住民税及び事業税	422	529
法人税等調整額	261	218
四半期純利益	1,125	3,046
非支配株主に帰属する四半期純利益	△4	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,129	3,052

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

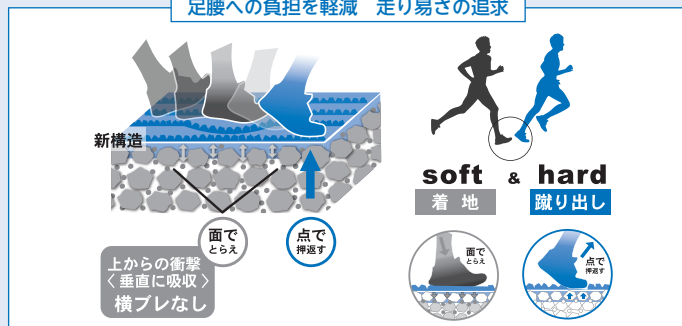
科 目	2018年度	2019年度
	(自2018年4月1日 自2018年9月30日)	(自2019年4月1日 自2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,549	6,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,163	△2,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,120	△1,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△748	2,069
現金及び現金同等物の期首残高	38,631	37,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,883	39,131

日本道路の技術力①

すべての人を健康にする「快適歩走」

「快適歩走」は、衝撃吸収と蹴り出し強さを併せ持つ、ウォーキングやランニングに適した画期的な走路です。ウレタン樹脂の弾性により着地時は「かかと」にかかる力を吸収し、ウレタン層の薄さで蹴り出し時は「つま先」にかかる力を効率的に路面に伝えます。当社独自の配合により、薄層でありながらエンボス仕上げが可能となりました。「快適歩走」は一般的なジョギング走路よりも安価に施工できます。

足腰への負担を軽減 走り易さの追求



▲順天堂大学さくらキャンパス内クロスカントリーコース

日本道路の技術力②

高耐久・長寿命を両立させた「スーパーアスコン」シリーズ

通行量の多い道路や駐車場、工場・物流施設内のトラック・コンテナヤードでは、車両の通行による高荷重の繰返しに対応するため、耐久性の高い舗装が求められます。

当社がこれらの舗装に用いる「スーパーアスコン」シリーズは、ポリエステルを添加した「スーパーポリアスコン」、エポキシ樹脂を添加した「スーパーEpoアスコン」、高強度半たわみタイプの「ウルトラペープH」と多彩なラインナップを取り揃えております。

一般的なアスファルト舗装に比べて高耐久の舗装を、お客さまのニーズに対して確実にお応えするとともに、環境負荷の低減に寄与しています。



▲花王株式会社 和歌山工場トラックヤード

「統合報告書2019」を発行しました

日本道路グループは、従来より「CSR経営」の推進を経営理念として掲げております。

2019年5月に「中期経営計画2019」を公表し、SDGsが目指す2030年のゴールに向けたサステナブルな社会づくりに貢献していく姿勢を打ち出しました。そのことを踏まえ、従来のCSR報告書の内容に加え、持続的な成長に向けた価値創造プロセスやSDGsへの取り組み、財務・非財務の価値をステークホルダーのみなさまにご理解いただくため、2019年10月に「統合報告書2019」を発行いたしました。

「統合報告書2019」は当社ホームページからご覧いただけます。

<https://www.nipponroad.co.jp/csr/report>

また、冊子をご希望の方は当社ホームページからお申し込みいただけます。



▲当社HPにはQRコードからもアクセスいただけます。

株式の状況 (2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 38,000,000株
- 発行済株式の総数 9,761,618株
- 株主数 5,079名
- 大株主 (上位10位)

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
清水建設株式会社	21,834 百株	24.8 %
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	5,437	6.2
CGML PB CLIENT ACCOUNT / COLLATERAL	5,095	5.8
日本道路取引先持株会	4,114	4.7
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	2,446	2.8
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,182	2.5
日本道路従業員持株会	1,843	2.1
明治安田生命保険相互会社	1,705	1.9
GOVERNMENT OF NORWAY	1,697	1.9
MSIP CLIENT SECURITIES	1,511	1.7

(注) 出資比率は自己株式 (971,412株) を控除して計算しております。

会社の概要 (2019年9月30日現在)

- 商 号 日本道路株式会社
 所 在 地 東京都港区新橋一丁目6番5号
 電話 (03) 3571-4891 (代表)
- 設 立 1929年3月10日
 資 本 金 122億9,026万円
 従 業 員 数 1,318名
- 主な事業内容
1. 道路建設及び舗装工事
 2. 一般土木工事
 3. 一般建築工事
 4. 環境整備工事
 5. スポーツ・レジャー施設工事
 6. アスファルト合材・乳剤の製造販売
 7. 産業廃棄物の処理並びに再生製品の販売
 8. 建設コンサルタント
 9. 賃貸事業
 10. 不動産取引業務
 11. 建築設計・監理

取締役・監査役

代表取締役社長	久松博三	常勤監査役	下田義昭
代表取締役	清水知己	常勤社外監査役	鈴木恭一
取締役	石井敏行	社外監査役	福田勝美
取締役	伊藤馨	社外監査役	宮本克己
社外取締役	中里晋一郎		
社外取締役	松本拓生		

執行役員

執行役員社長	久松博三	執行役員	楠田靖紀
専務執行役員	清水知己	執行役員	澁谷博志
専務執行役員	石井敏行	執行役員	荒島義明
専務執行役員	中神陽一(※)	執行役員	高杉丈之
常務執行役員	濱野光司	執行役員	大林匡
常務執行役員	伊藤馨	執行役員	田中秀和
執行役員	及川研	執行役員	佐藤裕一
執行役員	田村治	執行役員	坂上彦太郎
執行役員	土井昭裕	執行役員	荒尾慶文
執行役員	田中一光	執行役員	小楠直彦
執行役員	松井雅志		

※中神陽一氏は2019年10月1日付にて専務執行役員に就任しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法 (お知らせ)	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	https://www.nipponroad.co.jp/

郵便物送付先・電話お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間 9時～17時(土日祝日を除く)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払*、支払明細発行については、右記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	

※未払配当金の支払のみ、株式会社みずほ銀行全国本支店でもお取扱いたします。

【株式に関するお手続きのご案内】

株式に関するお手続き（住所変更及び単元未満株式買取請求等）につきましては、証券会社等をご利用の場合は、ご利用の証券会社等へお問い合わせください。

また、特別口座をご利用の場合及び未払配当金につきましては、上記の「電話お問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-288-324」にお問い合わせください。



日本道路株式会社

東京都港区新橋一丁目6番5号

ホームページアドレス <https://www.nipponroad.co.jp/>



日本道路グループは、
Fun to Shareに賛同
しています。

